

令和8年度

必修科目に関するシラバス
(令和7年度入学生)

2

桜井高等学校

令和8年度シラバス

教科	国語	科目	言語文化	単位	2
学科	土木科	学年	2 年	担当	桶元
教科書	数研出版「新編 言語文化」		補助教材	浜島書店「漢字ボックス」など	
科目の概要と目標		生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。			
単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
「ことば」を吟味する	舟を編む	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしてい	「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って考察しようとしている。	
古文の世界を楽しむ	説話集を読む楽しみ 児のそら寝	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	本文を通釈したうえで積極的に慣用句の意味用法を調べ、学習課題に沿ってオリジナルの短文を作ろうとしている。	
現代にも生きる教え	ジョブズと『徒然草』 ある人、弓射ることを習ふに	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	進んで本文を自分と引きつけて捉え、学習の見通しをもって話し合いに参加しようとしている。	
受け継がれる古文	羅生門 探究の扉 今昔物語集	文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している。 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。	「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って自分の考えを文章にしようとしている。粘り強く『羅生門』と『今昔物語集』の差異を見極め、考察しようとしている。	
日本語の中に生きる漢文 （ズームアップ 漢文由来の名付け）	訓読のきまり 格言	我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。	「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。	漢文に由来する学校名・会社名・人名などを調べて発表する課題において、積極的に自分の考えを説明しようとしている。	
故事と成語（ズームアップ 故事成語の用例を探そう）	故事成語を学ぶ 助長 漁夫の利 虎の威を借る狐	我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。	「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	故事成語の用例を調べて発表する課題において、粘り強く用例調査に取り組んでいる。	
和歌が作り出す世界	万葉集 古今和歌集 新古今和歌集 探究の扉 和歌を詠す	本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解すること。	「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすること。	和歌の詠例を進んで鑑賞しておもしろみを見出し、学習課題に沿ってオリジナル訳の作成に取り組もうとしている。	
昔と変わらない人の心	芥川	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	和歌に込められた心情を解釈し、学習課題に沿ってそれを現代語の短歌に書き直すことができる。	登場人物の行動や状況について積極的に自分と引きつけて捉え、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	
平安宮廷文学の世界	雪のいと高う降りたるを	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	粘り強く本文の内容を読み解き、学習課題に沿って作者の機知や登場人物の心情を理解しようとしている。	
受け継がれる漢文	山月記	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	粘り強く『山月記』と『人虎伝』の差異を見極め、学習課題に沿って考察しようとしている。	
観点別評価に対する評価方法		定期考査 ワークシート 提出物・小テスト	定期考査 ワークシート 提出物・小テスト	定期考査 ワークシート 提出物・小テスト	

令和8年度シラバス

教科	公民	科目	公共	単位	2
学科	普通科	学年	2 学年	担当	川上
教科書	第一学習社「高等学校 公共」		補助教材	「最新公共資料集」（第一学習社） 「公共ノート」（第一学習社）	
科目の概要と目標		人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につける。			
単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間を作る私たち 第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 第3章 公共的な空間における基本的原理	・社会に生きる私たち ・個人の尊厳と自主・自立 ・多様性と共通性 ・伝統文化とのかかわり ・自立した主体をめざして ・人間と社会のあり方についての見方・考え方 ・人間の尊厳と平等、個人の尊重 ・民主主義と法の支配 ・自由・権利と責任・義務 ・日本国憲法に生きる基本的原理	・人生の中で青年期はどのような意味をもつのか、自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としてのあり方生き方について理解している。 ・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いのさまざまな立場を理解し高めあうことのできる社会的な存在であることを理解している。 ・選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 ・環境保護や生命倫理に関する事例をもとに、自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、選択・判断の手掛かりとしての二つの考え方をもとに、行為者自身の人間としてのあり方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解している。	・公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えている。 ・孤立して生きるのではなく、地域社会などのさまざまな集団の一員として生きるとともに、異文化などの他者との協働により、人間としてのあり方・生き方を多面的・多角的に考察、表現している。 ・倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験などを通して、多面的・多角的に考察、表現している。 ・幸福、正義、公正などに着目して考えている。	・公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・公共的な空間でどのように生きるかについて、先哲の生き方などを参考に、人間としてのあり方生き方について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・公共的な空間における基本的原理と日本国憲法の基本的原則を関連させながら、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	
第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち	・法や規範の意義と役割 ・契約と消費者の権利・責任 ・司法参加の意義	・法や規範の意義及び役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・法には国家と国民の間を規律する公法や、私人間を規律する私法などがあり、法は刑罰などによって国民の行為を規制し社会の秩序の維持だけでなく、国民の活動を積極的に促進し、紛争を解決するなど、日常生活に密接に関連していることを理解している。 ・成年年齢が18歳以上となったことに対し、成年年齢の意味と成年の責任について理解している。 ・契約と消費者の権利・責任に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 ・国民の権利を守り、社会秩序を維持するために、公正な裁判が保障され、法律家が重要な役割を果たしていることを理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。	・生徒に身近な紛争や課題を取り上げ、どのようにすれば公平・公正に調整できるのか、主体的なルールを作成・利用することで考察、構想、表現している。 ・法をよりよく変えていくために、自由権の意味や、社会権が私たちの生活をどのように変えたのか、新しい人権とは何かをさまざまな立場に立って考察している。 ・幸福、正義、公正などに着目して考えている。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 ・検察審査会や国民の司法参加の意義など、具体的な主題を設定し、追究・解決するために考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。	・法や規範の意義と役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・契約と消費者の権利・責任について、現代の諸課題を具体的な例をもとに、主体的に解決しようとしている。 ・司法参加の意義について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	

第2章 政治的な主体となる私たち	・政治参加と公正な世論形成 ・国際社会と国家主権 ・日本の安全保障と防衛 ・国際社会の変化と日本の役割	・政治参加と公正な世論形成に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・選挙権年齢が18歳以上であることを踏まえ、選挙の意義や、政治的無関心の危険性などについて理解している。 ・国会の地位と構成・権限、議院内閣制のしくみ、内閣総理大臣の権限、行政の民主化について、理解している。 ・国際社会と国家主権に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 ・日本国憲法の平和主義について理解を深めることができるように、現実社会の諸課題に関わる諸資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 ・国際社会の変化と日本の役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。	・選挙のしくみ、政党の役割、世論の形成について、さまざまな情報手段を活用して、考察、構想し、表現している。 ・地方自治には、直接民主制の考え方に基づくしくみが、国政よりも多く取り入れられていることを理解しつつ、地方自治の課題についても考察、構想し、表現している。 ・国際法の意義と役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ・国際社会と国家主権について、国境や領土をめぐる諸課題を主体的に解決するために、必要な情報を収集し、考察、構想している。	・政治参加と公正な世論形成について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・国際社会と国家主権について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・日本の安全保障と防衛について、国連憲章や日米安全保障条約、平和主義を掲げる日本国憲法の下、現代の諸課題の解決に向けて、主体的に取り組もうとしている。 ・国際社会の変化と日本の役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
第3章 経済的な主体となる私たち	・雇用と労働問題 ・社会の変化と職業観 ・市場経済の機能と限界 ・金融のはたらき ・財政の役割と社会保障 ・経済のグローバル化	・仕事と生活の調和の観点から、雇用と労働問題に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・企業・家計・政府の三つの経済主体を考え、経済的な主体となる私たちはどのように経済活動に参加しているのか、理解している。 ・社会の変化と職業観について、人工知能の進化の影響など、現代の諸課題を理解している。 ・経済の基本的なしくみと資本主義経済、社会主義経済の特徴を理解している。 ・金融のはたらきに関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・資金の流れ、金融機関の役割、日本銀行の役割を理解している。 ・経済のグローバル化に関わる現実社会の課題を理解している。 ・グローバル化の進展により、貧困や格差の問題、地球環境問題などの解決が、地球的な課題となっていることを理解している。 ・国際経済問題の解決には、国家や国際機構などの多様な組織による協力が重要であることを理解している。	・雇用と労働問題について、日本的慣行の崩れなど、現代の諸課題を主体的に考察、構想し、論拠をもって表現している。 ・近年の雇用事情の変化とさまざまな労働問題について、具体例をあげて多角的に考察、構想し、論拠をもって表現している。 ・企業の役割や種類から、株式会社のしくみや企業の社会的責任について考察、構想し、論拠をもって表現している。 ・価格の変化が、消費者と企業の行動にどのように影響を及ぼしているか、さまざまな観点から多面的・多角的に考察、構想し、論拠をもって表現している。 ・市場機能の限界に対する公共財の供給について、政府の役割を多角的に考察、構想し、論拠をもって表現している。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。	・雇用と労働問題について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。 ・社会の変化と職業観について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。 ・市場経済の機能と限界について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・金融のはたらきについて、現代の諸課題を主体的に取り組もうとしている。 ・財政の役割と社会保障について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・国際協力のあり方、国際協調の重要性から、日本の役割について自分自身の問題として、主体的に解決しようとしている。
第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	・地球環境問題～排出量取引を考える ・資源・エネルギー問題～ベストミックスを考える ・生命倫理～ゲノム編集を考える ・情報～インターネットによる投票を考える ・国際社会の課題～フェアトレードを考える		・地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだしている。 ・課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。 ・現代の諸課題を、「第1編 公共の扉」で学んだことを基に、幸福、正義、公正や公共的な空間における基本的原理を用いて、考察、構想し、論拠をもって表現して。	・現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
観点別評価に対する評価方法		・発問評価 ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題

令和8年度シラバス

教科	公民	科目	公共	単位	2
学科	土木科	学年	2 年	担当	池田
教科書	第一学習社「高等学校 公共」		補助教材	「クローズアップ 公共2026」（第一学習社） 「公共ノート」（第一学習社）	
科目の概要と目標		人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につける。			
単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間を作る私たち 第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 第3章 公共的な空間における基本的原理	・社会に生きる私たち ・個人の尊厳と自主・自立 ・多様性と共通性 ・伝統文化とのかかわり ・自立した主体をめざして ・人間と社会のあり方についての見方・考え方 ・人間の尊厳と平等、個人の尊重 ・民主主義と法の支配 ・自由・権利と責任・義務 ・日本国憲法に生きる基本的原理	・人生の中で青年期はどのような意味をもつか、自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としてのあり方生き方について理解している。 ・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いのさまざまな立場を理解し高めあうことのできる社会的な存在であることを理解している。 ・選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 ・環境保護や生命倫理に関する事例をもとに、自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、選択・判断の手掛かりとしての二つの考え方をもとに、行為者自身の人間としてのあり方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解している。	・公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えている。 ・孤立して生きるのではなく、地域社会などのさまざまな集団の一員として生きるとともに、異文化などの他者との協働により、人間としてのあり方・生き方を多面的・多角的に考察、表現している。 ・倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験などを通して、多面的・多角的に考察、表現している。 ・幸福、正義、公正などに着目して考えている。	・公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・公共的な空間でどのように生きるかについて、先哲の生き方などを参考に、人間としてのあり方生き方について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・公共的な空間における基本的原理と日本国憲法の基本的原則を関連させながら、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	
第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち	・法や規範の意義と役割 ・契約と消費者の権利・責任 ・司法参加の意義	・法や規範の意義及び役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・法には国家と国民の間を規律する公法や、私人間を規律する私法などがあり、法は刑罰などによって国民の行為を規制し社会の秩序の維持だけでなく、国民の活動を積極的に促進し、紛争を解決するなど、日常生活に密接に関連していることを理解している。 ・成年年齢が18歳以上となったことに対し、成年年齢の意味と成年の責任について理解している。 ・契約と消費者の権利・責任に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 ・国民の権利を守り、社会秩序を維持するために、公正な裁判が保障され、法律家が重要な役割を果たしていることを理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。	・生徒に身近な紛争や課題を取り上げ、どのようにすれば公平・公正に調整できるのか、主体的なルールを作成・利用することで考察、構想、表現している。 ・法をよりよく変えていくために、自由権の意味や、社会権が私たちの生活をどのように変えたのか、新しい人権とは何かをさまざまな立場に立って考察している。 ・幸福、正義、公正などに着目して考えている。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 ・検察審査会や国民の司法参加の意義など、具体的な主題を設定し、追究・解決するために考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。	・法や規範の意義と役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・契約と消費者の権利・責任について、現代の諸課題を具体的な例をもとに、主体的に解決しようとしている。 ・司法参加の意義について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	

第2章 政治的な主体となる私たち	・政治参加と公正な世論形成 ・国際社会と国家主権 ・日本の安全保障と防衛 ・国際社会の変化と日本の役割	・政治参加と公正な世論形成に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・選挙権年齢が18歳以上であることを踏まえ、選挙の意義や、政治的無関心の危険性などについて理解している。 ・国会の地位と構成・権限、議院内閣制のしくみ、内閣総理大臣の権限、行政の民主化について、理解している。 ・国際社会と国家主権に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 ・日本国憲法の平和主義について理解を深めることができるように、現実社会の諸課題に関わる諸資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 ・国際社会の変化と日本の役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。	・選挙のしくみ、政党の役割、世論の形成について、さまざまな情報手段を活用して、考察、構想し、表現している。 ・地方自治には、直接民主制の考え方に基づくしくみが、国政よりも多く取り入れられていることを理解しつつ、地方自治の課題についても考察、構想し、表現している。 ・国際法の意義と役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ・国際社会と国家主権について、国境や領土をめぐる諸課題を主体的に解決するために、必要な情報を収集し、考察、構想している。	・政治参加と公正な世論形成について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・国際社会と国家主権について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・日本の安全保障と防衛について、国連憲章や日米安全保障条約、平和主義を掲げる日本国憲法の下、現代の諸課題の解決に向けて、主体的に取り組もうとしている。 ・国際社会の変化と日本の役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
第3章 経済的な主体となる私たち	・雇用と労働問題 ・社会の変化と職業観 ・市場経済の機能と限界 ・金融のはたらき ・財政の役割と社会保障 ・経済のグローバル化	・仕事と生活の調和の観点から、雇用と労働問題に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・企業・家計・政府の三つの経済主体を考え、経済的な主体となる私たちはどのように経済活動に参加しているのか、理解している。 ・社会の変化と職業観について、人工知能の進化の影響など、現代の諸課題を理解している。 ・経済の基本的なしくみと資本主義経済、社会主義経済の特徴を理解している。 ・金融のはたらきに関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・資金の流れ、金融機関の役割、日本銀行の役割を理解している。 ・経済のグローバル化に関わる現実社会の課題を理解している。 ・グローバル化の進展により、貧困や格差の問題、地球環境問題などの解決が、地球的な課題となっていることを理解している。 ・国際経済問題の解決には、国家や国際機構などの多様な組織による協力が重要であることを理解している。	・雇用と労働問題について、日本的慣行の崩れなど、現代の諸課題を主体的に考察、構想し、論拠をもって表現している。 ・近年の雇用事情の変化とさまざまな労働問題について、具体例をあげて多角的に考察、構想し、論拠をもって表現している。 ・企業の役割や種類から、株式会社のしくみや企業の社会的責任について考察、構想し、論拠をもって表現している。 ・価格の変化が、消費者と企業の行動にどのように影響を及ぼしているか、さまざまな観点から多面的・多角的に考察、構想し、論拠をもって表現している。 ・市場機能の限界に対する公共財の供給について、政府の役割を多角的に考察、構想し、論拠をもって表現している。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。	・雇用と労働問題について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。 ・社会の変化と職業観について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。 ・市場経済の機能と限界について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・金融のはたらきについて、現代の諸課題を主体的に取り組もうとしている。 ・財政の役割と社会保障について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・国際協力のあり方、国際協調の重要性から、日本の役割について自分自身の問題として、主体的に解決しようとしている。
第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	・地球環境問題～排出量取引を考える ・資源・エネルギー問題～ベストミックスを考える ・生命倫理～ゲノム編集を考える ・情報～インターネットによる投票を考える ・国際社会の課題～フェアトレードを考える		・地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだしている。 ・課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。 ・現代の諸課題を、「第1編 公共の扉」で学んだことを基に、幸福、正義、公正や公共的な空間における基本的原理を用いて、考察、構想し、論拠をもって表現して。	・現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
観点別評価に対する評価方法		・発問評価 ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題

令和8年度シラバス

教科	公民	科目	公共	単位	2
学科	生活環境科	学年	2 年	担当	池田
教科書	第一学習社「高等学校 公共」	補助教材	「クローズアップ 公共2026」（第一学習社） 「公共ノート」（第一学習社）		
科目の概要と目標		人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につける。			
単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間を作る私たち 第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 第3章 公共的な空間における基本的原理	・社会に生きる私たち ・個人の尊厳と自主・自立 ・多様性と共通性 ・伝統文化とのかかわり ・自立した主体をめざして ・人間と社会のあり方についての見方・考え方 ・人間の尊厳と平等、個人の尊重 ・民主主義と法の支配 ・自由・権利と責任・義務 ・日本国憲法に生きる基本的原理	・人生の中で青年期はどのような意味をもつか、自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としてのあり方生き方について理解している。 ・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いのさまざまな立場を理解し高めあうことのできる社会的な存在であることを理解している。 ・選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 ・環境保護や生命倫理に関する事例をもとに、自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、選択・判断の手掛かりとしての二つの考え方をもとに、行為者自身の人間としてのあり方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解している。	・公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えている。 ・孤立して生きるのではなく、地域社会などのさまざまな集団の一員として生きるとともに、異文化などの他者との協働により、人間としてのあり方・生き方を多面的・多角的に考察、表現している。 ・倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験などを通して、多面的・多角的に考察、表現している。 ・幸福、正義、公正などに着目して考えている。	・公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・公共的な空間でどのように生きるかについて、先哲の生き方などを参考に、人間としてのあり方生き方について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・公共的な空間における基本的原理と日本国憲法の基本的原則に関連させながら、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	
第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち	・法や規範の意義と役割 ・契約と消費者の権利・責任 ・司法参加の意義	・法や規範の意義及び役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・法には国家と国民の間を規律する公法や、私人間を規律する私法などがあり、法は刑罰などによって国民の行為を規制し社会の秩序の維持だけでなく、国民の活動を積極的に促進し、紛争を解決するなど、日常生活に密接に関連していることを理解している。 ・成年年齢が18歳以上となったことに対し、成年年齢の意味と成年の責任について理解している。 ・契約と消費者の権利・責任に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 ・国民の権利を守り、社会秩序を維持するために、公正な裁判が保障され、法律家が重要な役割を果たしていることを理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。	・生徒に身近な紛争や課題を取り上げ、どのようにすれば公平・公正に調整できるのか、主体的なルールを作成・利用することで考察、構想、表現している。 ・法をよりよく変えていくために、自由権の意味や、社会権が私たちの生活をどのように変えたのか、新しい人権とは何かをさまざまな立場に立って考察している。 ・幸福、正義、公正などに着目して考えている。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 ・検察審査会や国民の司法参加の意義など、具体的な主題を設定し、追究・解決するために考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。	・法や規範の意義と役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・契約と消費者の権利・責任について、現代の諸課題を具体的な例をもとに、主体的に解決しようとしている。 ・司法参加の意義について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	

第2章 政治的な主体となる私たち	・政治参加と公正な世論形成 ・国際社会と国家主権 ・日本の安全保障と防衛 ・国際社会の変化と日本の役割	・政治参加と公正な世論形成に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・選挙権年齢が18歳以上であることを踏まえ、選挙の意義や、政治的無関心の危険性などについて理解している。 ・国会の地位と構成・権限、議院内閣制のしくみ、内閣総理大臣の権限、行政の民主化について、理解している。 ・国際社会と国家主権に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 ・日本国憲法の平和主義について理解を深めることができるように、現実社会の諸課題に関わる諸資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 ・国際社会の変化と日本の役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。	・選挙のしくみ、政党の役割、世論の形成について、さまざまな情報手段を活用して、考察、構想し、表現している。 ・地方自治には、直接民主制の考え方に基づくしくみが、国政よりも多く取り入れられていることを理解しつつ、地方自治の課題についても考察、構想し、表現している。 ・国際法の意義と役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ・国際社会と国家主権について、国境や領土をめぐる諸課題を主体的に解決するために、必要な情報を収集し、考察、構想している。	・政治参加と公正な世論形成について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・国際社会と国家主権について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・日本の安全保障と防衛について、国連憲章や日米安全保障条約、平和主義を掲げる日本国憲法の下、現代の諸課題の解決に向けて、主体的に取り組もうとしている。 ・国際社会の変化と日本の役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
第3章 経済的な主体となる私たち	・雇用と労働問題 ・社会の変化と職業観 ・市場経済の機能と限界 ・金融のはたらき ・財政の役割と社会保障 ・経済のグローバル化	・仕事と生活の調和の観点から、雇用と労働問題に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・企業・家計・政府の三つの経済主体を考え、経済的な主体となる私たちはどのように経済活動に参加しているのか、理解している。 ・社会の変化と職業観について、人工知能の進化の影響など、現代の諸課題を理解している。 ・経済の基本的なしくみと資本主義経済、社会主義経済の特徴を理解している。 ・金融のはたらきに関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・資金の流れ、金融機関の役割、日本銀行の役割を理解している。 ・経済のグローバル化に関わる現実社会の課題を理解している。 ・グローバル化の進展により、貧困や格差の問題、地球環境問題などの解決が、地球的な課題となっていることを理解している。 ・国際経済問題の解決には、国家や国際機構などの多様な組織による協力が重要であることを理解している。	・雇用と労働問題について、日本的雇用慣行の崩れなど、現代の諸課題を主体的に考察、構想し、論拠をもって表現している。 ・近年の雇用事情の変化とさまざまな労働問題について、具体例をあげて多角的に考察、構想し、論拠をもって表現している。 ・企業の役割や種類から、株式会社のしくみや企業の社会的責任について考察、構想し、論拠をもって表現している。 ・価格の変化が、消費者と企業の行動にどのように影響を及ぼしているか、さまざまな観点から多面的・多角的に考察、構想し、論拠をもって表現している。 ・市場機能の限界に対する公共財の供給について、政府の役割を多角的に考察、構想し、論拠をもって表現している。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。	・雇用と労働問題について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。 ・社会の変化と職業観について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。 ・市場経済の機能と限界について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・金融のはたらきについて、現代の諸課題を主体的に取り組もうとしている。 ・財政の役割と社会保障について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・国際協力のあり方、国際協調の重要性から、日本の役割について自分自身の問題として、主体的に解決しようとしている。
第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	・地球環境問題～排出量取引を考える ・資源・エネルギー問題～ベストミックスを考える ・生命倫理～ゲノム編集を考える ・情報～インターネットによる投票を考える ・国際社会の課題～フェアトレードを考える		・地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだしている。 ・課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。 ・現代の諸課題を、「第1編 公共の扉」で学んだことを基に、幸福、正義、公正や公共的な空間における基本的原理を用いて、考察、構想し、論拠をもって表現して。	・現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
観点別評価に対する評価方法		・発問評価 ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題

令和8年度シラバス

教科	理科	科目	物理基礎		単位	2
学科	土木科	学年	2年		担当	米山
教科書	改訂 第一学習社 新物理基礎		補助教材	第一学習社 ネオパルノート物理基礎		
科目の概要と目標		日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動とさまざまなエネルギーへの関心を高め物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。				
単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
運動とエネルギー	・速度 ・加速度 ・落体の運動 ・力とそのはたらき ・力のつりあい ・運動の法則 ・摩擦を受ける運動 ・液体や気体から受ける力 ・仕事 ・運動エネルギー ・位置エネルギー ・力学的エネルギーの保存	・物体の速さに関係する式を理解している。 ・重力、垂直抗力、摩擦力、糸が引く力、弾性力について、理解している。 ・さまざまな運動をしている物体について、運動方程式を立てて考えようとしている。 ・圧力を求める式を理解している。 ・仕事、仕事率を計算して求めようとしている。 ・さまざまな物体の運動について、力学的エネルギー保存則を用いている。	・等速直線運動する物体の運動のようすについて説明している。 ・自由落下、鉛直投射の性質を正しく理解し、これらの運動について考察している。 ・物体にはたらく摩擦力について説明している。 ・水中にある物体にはたらく水圧や浮力について正しく理解し、説明している。 ・「仕事の原理」を理解している。 ・力学的エネルギー保存則を用いて、物体の運動を定性的に考えようとしている。	・「力」に対して、どのようにして力の存在がわかるのか、また力にはどのような種類があるのかについて考えようとしている。 ・物体の運動状態は、受ける力とどのような関係にあるかについて興味・関心をもち、理解しようとしている。 ・日常で用いる「仕事」と物理で使う「仕事」の違いを理解し、物理でいうところの「仕事」について理解しようとしている。		
熱	・熱と物質の状態 ・熱と仕事	・熱量の保存について理解し、熱量保存の式を立てようとしている。 ・仕事と熱の関係や熱力学第一法則について理解している。	・温度や熱容量、比熱はどのような物理量か、自分の言葉で説明している。 ・熱に関わる日常的な事象を、学習内容に照らし合わせて説明している。	・授業中の発問に対して、主体的に考えようとしている。 ・仕事が熱に変化するものや、熱が仕事に変化するものを考えようとしている。		
波	・波と媒質の運動 ・重ね合わせの原理 ・音の性質 ・発音体の振動と共振、共鳴	・波の発生原理や基本事項を理解している。 ・定在波の生じるしくみを理解している。 ・日常生活での体験を通して、音の波としての性質を理解している。	・波の伝わるようすを、グラフで表現している。 ・固定端と自由端での波の反射について説明している。 ・音を特徴づける3つの要素について説明している。	・波に関する実験・観察に主体的に取り組んでいる。 ・授業中の発問に対して、主体的に考えようとしている。		
電気	・電気の性質 ・電流と電気抵抗 ・電気とエネルギー ・電流と磁場 ・交流と電磁場	・物体の帯電するしくみについて理解している。 ・電流と電圧の基礎について理解している。 ・電力量と電力の意味について理解している。 ・交流電圧の基本について理解している。	・電気回路における、接続ごとの電流、電圧の大きさについて適切に理解しており、説明している。 ・ジュール熱について、電流と電圧とどのような関係にあるか説明している。 ・直流と交流の違いについて理解しており、それを説明している。	・電気に関する身近な現象についての話し合いで、主体的に発言している。 ・授業中の発問に対して、主体的に考えようとしている。		
観点別評価に対する評価方法		・発問評価 ・実験レポート ・ノート提出 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・実験レポート ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・実験レポート ・小テスト ・定期考査		

令和8年度シラバス

教科	理科	科目	化学基礎	単位	2
学科	普通科	学年	2 年 文	担当	近藤
教科書	高等学校 化学基礎（数研出版）		補助教材	改訂版 リードLightノート 化学基礎	
科目の概要と目標		・化学が物質を対象とする科学であることや化学が人間生活に果たしている役割を理解できる。 ・原子の構造及び電子配置と周期律の関係を理解できる。 ・化学反応の量的関係、酸と塩基及び酸化還元反応の基本的な概念を理解し、日常生活に関連付けて考察できる。			
単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
序章 化学の特徴	・日常生活や社会を支える身近な物質 ・物質を対象とする学問である化学の特徴	化学が物質やその変化を対象とする学問であることを理解している。	物質の性質を調べる活動において、科学的に探究する方法を提案したり、実験結果を科学的に判断したりしている。	日常生活や社会を支える身近な物質に注目し、科学に対する興味・関心を高め、意欲的に取り組もうとしている。	
第1編 物質の構成と化学結合	・実験の基本操作 ・単体や化合物 ・粒子の熱運動と絶対温度 ・原子の構造 ・元素の周期律 ・イオン結合の物質の性質 ・共有結合の物質の性質 ・金属結合の物質の性質 ・分子の性質	・物質が混合物と純物質、および単体と化合物に分けられることを理解している。 ・イオンの表し方やイオン化エネルギーについての知識を身に付けている。 ・各結晶の性質について理解し、知識を身に付けている。	・原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解している。 ・物質の性質を調べる実験を通して、化学結合と結晶の性質の関係を考察している。 ・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりしている。	・物質の構造や性質に関する事象に関心をもち、意欲的に物質を探究しようとしている。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとしている。	
第2編 物質の変化	・物質量と粒子数、質量、気体の体積、モル濃度との関係 ・化学反応式と量的関係 ・酸と塩基の性質 ・水素イオン濃度とpH ・中和反応の量的関係、滴定曲線 ・酸化還元反応 ・金属のイオン化傾向 ・電池や電気分解	・物質量と粒子数、質量、気体の体積、モル濃度との関係を理解している。 ・中和反応に関与する物質の量的関係を理解している。 ・酸化還元反応の利用例として、電池や電気分解などがあることを理解している。	・化学反応式をもとに物質の量的関係を判断している。 ・実験で得られたデータをグラフ化するなどの処理を行い、結果を化学的に考察している。 ・中和滴定の実験を通して、各操作を行う意味や実験結果にもたらす影響を考察している。	・物質の構造や性質に関する事象に関心をもち、意欲的に探究しようとしている。 ・酸、塩基や中和反応に関心をもち、意欲的に探究しようとしている。 ・燃焼、腐食などの反応に興味をもち、意欲的に探究しようとしている。	
終章 化学が拓く世界	・化学と日常生活	・「化学基礎」で学んだ事柄が、日常生活や社会を支える科学技術と結びついていることを理解している。	・「化学基礎」で学んだ事柄が日常生活でどのようにいかされているかを教科書の題材外にも範囲を広げて考察している。	・「化学基礎」で学んだ事柄が日常生活でどのようにいかされているかに注目し、意欲的に探究しようとしている。	
観点別評価に対する評価方法		・発問評価 ・実験レポート ・ノート提出 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・実験レポート ・小テスト	・授業態度 ・発問評価 ・実験レポート ・小テスト	

令和8年度シラバス

教科	理科	科目	化学基礎	単位	2
学科	普通科	学年	2 年 理	担当	廣田
教科書	高等学校 化学基礎（数研出版）		補助教材	新課程 リードα化学基礎＋化学	
科目の概要と目標		・化学が物質を対象とする科学であることや化学が人間生活に果たしている役割を理解できる。 ・原子の構造及び電子配置と周期律の関係を理解できる。 ・化学反応の量的関係、酸と塩基及び酸化還元反応の基本的な概念を理解し、日常生活に関連付けて考察できる。			
単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
序章 化学の特徴	・日常生活や社会を支える身近な物質 ・物質を対象とする学問である化学の特徴	化学が物質やその変化を対象とする学問であることを理解している。	物質の性質を調べる活動において、科学的に探究する方法を提案したり、実験結果を科学的に判断したりしている。	日常生活や社会を支える身近な物質に注目し、科学に対する興味・関心を高め、意欲的に取り組もうとしている。	
第1編 物質の構成と化学結合	・実験の基本操作 ・単体や化合物 ・粒子の熱運動と絶対温度 ・原子の構造 ・元素の周期律 ・イオン結合の物質の性質 ・共有結合の物質の性質 ・金属結合の物質の性質 ・分子の性質	・物質が混合物と純物質、および単体と化合物に分けられることを理解している。 ・イオンの表し方やイオン化エネルギーについての知識を身に付けている。 ・各結晶の性質について理解し、知識を身に付けている。	・原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解している。 ・物質の性質を調べる実験を通して、化学結合と結晶の性質の関係を考察している。 ・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりしている。	・物質の構造や性質に関する事象に関心をもち、意欲的に物質を探究しようとしている。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとしている。	
第2編 物質の変化	・物質量と粒子数、質量、気体の体積、モル濃度との関係 ・化学反応式と量的関係 ・酸と塩基の性質 ・水素イオン濃度とpH ・中和反応の量的関係、滴定曲線 ・酸化還元反応 ・金属のイオン化傾向 ・電池や電気分解	・物質量と粒子数、質量、気体の体積、モル濃度との関係を理解している。 ・中和反応に関与する物質の量的関係を理解している。 ・酸化還元反応の利用例として、電池や電気分解などがあることを理解している。	・化学反応式をもとに物質の量的関係を判断している。 ・実験で得られたデータをグラフ化するなどの処理を行い、結果を化学的に考察している。 ・中和滴定の実験を通して、各操作を行う意味や実験結果にもたらす影響を考察している。	・物質の構造や性質に関する事象に関心をもち、意欲的に探究しようとしている。 ・酸、塩基や中和反応に関心をもち、意欲的に探究しようとしている。 ・燃焼、腐食などの反応に興味をもち、意欲的に探究しようとしている。	
終章 化学が拓く世界	・化学と日常生活	・「化学基礎」で学んだ事柄が、日常生活や社会を支える科学技術と結びついていることを理解している。	・「化学基礎」で学んだ事柄が日常生活でどのようにいかされているかを教科書の題材外にも範囲を広げて考察している。	・「化学基礎」で学んだ事柄が日常生活でどのようにいかされているかに注目し、意欲的に探究しようとしている。	
観点別評価に対する評価方法		・発問評価 ・実験レポート ・ノート提出 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・実験レポート ・小テスト	・授業態度 ・発問評価 ・実験レポート ・小テスト	

令和8年度シラバス

教科	理科	科目	化学基礎	単位	3
学科	生活環境	学年	2 年	担当	近藤
教科書	第一学習社 高等学校 新化学基礎		補助教材	第一学習社 新課程版 ネオバルノート化学基礎	
科目の概要と目標		物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を化学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。			
単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
序編 科学と人間生活	・日常生活や社会を支える身近な物質 ・物質を対象とする学問である化学の特徴	化学が物質やその変化を対象とする学問であることを理解している。	物質の性質を調べる活動において、科学的に探究する方法を提案したり、実験結果を科学的に判断したりしている。	日常生活や社会を支える身近な物質に注目し、科学に対する興味・関心を高め、意欲的に取り組もうとしている。	
第1章 物質の構成	・実験の基本操作 ・単体や化合物 ・粒子の熱運動と絶対温度 ・原子の構造 ・元素の周期律 ・イオン結合の物質の性質 ・共有結合の物質の性質 ・金属結合の物質の性質 ・分子の性質	・物質が混合物と純物質、および単体と化合物に分けられることを理解し、その違いを理解している。 ・イオンの生成を理解し、イオンの表し方やイオン化エネルギーについての知識を身に付けている。 ・各結晶の性質について理解し、知識を身に付けている。	・原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解している。 ・物質の性質を調べる実験を通して、化学結合と結晶の性質の関係を考察している。 ・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりしている。	・物質の構造や性質に関する事象に関心をもち、意欲的に物質を探究しようとしている。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとしている。	
第2章 物質の変化	・物質量と粒子数、質量、気体の体積、モル濃度との関係 ・溶解と濃度 ・化学反応式と量的関係 ・酸と塩基の性質 ・水素イオン濃度とpH ・中和反応の量的関係 ・塩の性質 ・中和滴定曲線 ・酸化還元反応 ・酸化剤や還元剤 ・金属のイオン化傾向 ・電池や電気分解	・物質量と粒子数、質量、気体の体積、モル濃度との関係を理解している。 ・化学変化の量的関係を把握する方法を理解し、知識を身に付けている。 ・酸と塩基の定義や分類を理解している。 ・中和反応に関与する物質の量的関係を理解している。 ・酸化・還元の定義を理解し、知識を身に付けている。 ・酸化剤、還元剤のはたらきを理解している。 ・酸化還元反応の利用例として、電池や電気分解などがあることを理解し、電池の構成などの基本的な知識を身に付けている。	・化学変化では、一定の量的関係が成り立つことを理解し、化学反応式をもとに物質の量的関係を判断している。 ・実験で得られたデータをグラフ化するなどの処理を行い、結果を化学的に考察している。 ・酸・塩基の観察、実験から共通性を見だし、酸・塩基の定義を理解し、日常生活と関連付けて考察している。 ・中和滴定の実験を通して、それぞれの操作がどのような意味をもっているのかを理解し、実験結果に対してどのような影響があるかを考察している。 ・観察、実験を通して、酸化・還元の定義と、酸化数の定義の有効性を理解し、それらをもとに事物・現象の中に共通性を見出し、酸化還元反応として論理的に考察している。	・物質の構造や性質に関する事象に関心をもち、意欲的に物質を探究しようとしている。 ・化学変化の量的関係を物質量と関連付けて考察しようとしている。 ・酸、塩基や中和反応に関心をもち、それらを日常生活に関連付けて、意欲的に探究しようとしている。 ・酸と塩基の反応の量的関係を物質量と関連付けて考察しようとしている。 ・燃焼、金属の溶解や腐食などの反応に興味をもち、電子の授受という観点から、それらを意欲的に探究しようとしている。 ・酸化還元反応の量的関係を物質量と関連付けて考察しようとしている。	
終章 化学が拓く世界	・水道水 ・食品の保存 ・洗剤 ・リサイクル	・「化学基礎」で学んだ事柄が、日常生活や社会を支える科学技術と結びついていることを理解している。	・「化学基礎」で学んだ事柄が日常生活や社会でどのようにいかされているかを教科書の題材以外にも範囲を広げて考察している。	・「化学基礎」で学んだ事柄が日常生活や社会の中でどのようにいかされているかに注目し、意欲的に探究しようとしている。	
観点別評価に対する評価方法		・発問評価 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・実験レポート ・定期考査	・授業態度・発問評価 ・実験レポート ・小テスト ・定期考査	

令和 8 年度シラバス

教科	保健体育	科目	体育	単位	3
学科	普通科	学年	2 年	担当	島端 亀田 飯村 関口
教科書	大修館「新高等保健体育」		補助教材	大修館「Active Sports 2024」	
科目の概要と目標		・運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 ・自己や仲間の課題や練習方法について伝え、運動を継続して楽しむための関わり方を見付けるようにする。 ・ルールやマナーを大切にして、運動に自主的に取り組もうとする。			
単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
体づくり運動	体の使い方の気付き 体の動きを高める運動 効率の良い組合わせの実践 バランスの良い組合わせの実践	運動を継続する意義、体の構造、運動の原則について理解している。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話合いに貢献しようとするなどをしてしたり、健康・安全を確保したりしている。	
体育理論	スポーツにおける技術と戦術・戦略	・個々の運動やスポーツを特徴付けている技術は、練習を通して身に付けられた合理的な動き方としての技能という状態で発揮されること、技能には、クローズドスキル型とオープンスキル型の技能があること、オープンスキル型の技能は、対人的な競技などで絶えず変化する状況の下で多く発揮されること、クローズドスキル型の技能は、個人的な競技などで状況の変化が少ないところで多く発揮されること、その型の違いによって学習の仕方が異なることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、概念と自己の状況を関連付けたりして、自己や社会についての課題を発見している。 ・運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について、習得した知識を基に、環境の異なる場所や変化を想定して、危険を予見し回避するための自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。	スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、主体的に取り組もうとしている。	
	スポーツにおける技能と体力	・運動やスポーツの技能は、体力と相互に関連しており、技能は、身長や体重などの体格や巧みさなどの体力との関連で発揮されることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。			
	技能の上達過程と練習の考え方	・運動やスポーツの技能の上達過程を試行錯誤の段階、意図的な調整の段階及び自動化の段階の三つに分ける考え方があること、また、これらの段階に応じて、効果的に上達を図るためには、良い動きを参考として自己の課題を設定すること、課題解決のための自己に適した練習方法を選択すること、自己観察や他者観察を通して課題を発見し解決すること、上達に応じて次の課題を設定することといった取り組み方が運動の継続に有効であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。			
	効果的な動きのメカニズム	・運動やスポーツの技能は、体力と相互に関連しており、技能は、身長や体重などの体格や巧みさなどの体力との関連で発揮されることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。			
	体力トレーニング	・運動やスポーツの技能を発揮する際には、個々の技能に関連した体力を高めることが必要になることや、期待される成果に応じた技能や体力の高め方があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。			
	運動やスポーツでの危険予知と安全確保	・運動やスポーツを行う際は、気象条件の変化など様々な危険を予見し、回避することが求められること及び、気象条件や自然環境の変化など様々な危険を予見し回避するためには、けがや事故の防止のための対策、発生時の処置、回復期の対処などの各場面での適切な対応方法を想定しておくこと、けがや事故につながりそうな体験から行動や活動環境の修正を図ることが有効であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。			

選択領域（A,B,C,Dの中から2領域以上選択）					
陸上競技・・・A	走・跳・投の基礎基本 短距離走 リレー	○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。	○技能 短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡しで次走者のスピードを十分に高めることができる。	動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。
ダンス・・・B	創作ダンス 発表会	○知識 ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などについて理解している。	○技能 創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方に変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ることができる。	表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。
球技・・・C 【ゴール型】 サッカー バスケットボール ハンドボール	基本技能 課題に応じた練習 簡易ゲーム	○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。	○技能 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。	攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間に考えたことを他者に伝えている。	球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
【ネット型】 テニス バレーボール バドミントン			○技能 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。		
【ベースボール型】 ソフトボール			○技能 安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。		
【武道】 ・・・D 柔道	伝統的な考え方 基本動作 連絡技 簡易試合	○知識 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などについて理解している。	○技能 相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすることができる。	攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。
剣道	伝統的な考え方 基本動作 しかけ技・応じ技 簡易試合		○技能 相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をすることができる。		
観点別評価に対する評価方法		観察 技能テスト 学習カード		観察（発表、話し合い、発言） 学習カード	観察（発表、話し合い、発言） 学習カード

令和 8 年度シラバス

教科	保健体育	科目	体育	単位	2
学科	土木科	学年	2 年	担当	関口
教科書	大修館「新高等保健体育」		補助教材	大修館「Active Sports 2024」	
科目の概要と目標		・運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 ・自己や仲間の課題や練習方法について伝え、運動を継続して楽しむための関わり方を見付けるようにする。 ・ルールやマナーを大切にして、運動に自主的に取り組もうとする。			
単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
体づくり運動	体の使い方の気付き 体の動きを高める運動 効率の良い組合わせの実践 バランスの良い組合わせの実践	運動を継続する意義、体の構造、運動の原則について理解している。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話合いに貢献しようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	
体育理論	スポーツにおける技術と戦術・戦略	・個々の運動やスポーツを特徴付けている技術は、練習を通して身に付けられた合理的な動き方としての技能という状態で発揮されること、技能には、クローズドスキル型とオープンスキル型の技能があること、オープンスキル型の技能は、対人的な競技などで絶えず変化する状況の下で多く発揮されること、クローズドスキル型の技能は、個人的な競技などで状況の変化が少ないところで多く発揮されること、その型の違いによって学習の仕方が異なることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、概念と自己の状況を関連付けたりして、自己や社会についての課題を発見している。 ・運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について、習得した知識を基に、環境の異なる場所や変化を想定して、危険を予見し回避するための自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。	スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、主体的に取り組もうとしている。	
	スポーツにおける技能と体力	・運動やスポーツの技能は、体力と相互に関連しており、技能は、身長や体重などの体格や巧みさなどの体力との関連で発揮されることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。			
	技能の上達過程と練習の考え方	・運動やスポーツの技能の上達過程を試行錯誤の段階、意図的な調整の段階及び自動化の段階の三つに分ける考え方があること、また、これらの段階に応じて、効果的に上達を図るためには、良い動きを参考として自己の課題を設定すること、課題解決のための自己に適した練習方法を選択すること、自己観察や他者観察を通して課題を発見し解決すること、上達に応じて次の課題を設定することといった取り組み方が運動の継続に有効であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。			
	効果的な動きのメカニズム	・運動やスポーツの技能は、体力と相互に関連しており、技能は、身長や体重などの体格や巧みさなどの体力との関連で発揮されることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。			
	体力トレーニング	・運動やスポーツの技能を発揮する際には、個々の技能に関連した体力を高めることが必要になることや、期待される成果に応じた技能や体力の高め方があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。			
	運動やスポーツでの危険予知と安全確保	・運動やスポーツを行う際は、気象条件の変化など様々な危険を予見し、回避することが求められること及び、気象条件や自然環境の変化など様々な危険を予見し回避するためには、けがや事故の防止のための対策、発生時の処置、回復期の対処などの各場面での適切な対応方法を想定しておくこと、けがや事故につながりそうな体験から行動や活動環境の修正を図ることが有効であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。			

選択領域（A,B,C,Dの中から2領域以上選択）					
陸上競技・・・A	走・跳・投の基礎基本 短距離走 リレー	○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。	○技能 短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡しで次走者のスピードを十分に高めることができる。	動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。
ダンス・・・B	創作ダンス 発表会	○知識 ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などについて理解している。	○技能 創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方に変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ることができる。	表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。
球技・・・C 【ゴール型】 サッカー バスケットボール ハンドボール	基本技能 課題に応じた練習 簡易ゲーム	○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。	○技能 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。	攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間に考えたことを他者に伝えている。	球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
【ネット型】 テニス バレーボール バドミントン			○技能 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。		
【ベースボール型】 ソフトボール			○技能 安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。		
【武道】・・・D 柔道	伝統的な考え方 基本動作 連絡技 簡易試合	○知識 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などについて理解している。	○技能 相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすることができる。	攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。
剣道	伝統的な考え方 基本動作 しかけ技・応じ技 簡易試合		○技能 相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をすることができる。		
観点別評価に対する評価方法		観察 技能テスト 学習カード		観察（発表、話し合い、発言） 学習カード	観察（発表、話し合い、発言） 学習カード

令和 8 年度シラバス

教科	保健体育	科目	体育	単位	2
学科	生活環境科	学年	2 年	担当	島端
教科書	大修館「新高等保健体育」		補助教材	大修館「Active Sports 2024」	
科目の概要と目標		・運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 ・自己や仲間の課題や練習方法について伝え、運動を継続して楽しむための関わり方を見付けるようにする。 ・ルールやマナーを大切に、運動に自主的に取り組もうとする。			
単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
体づくり運動	体の使い方の気付き 体の動きを高める運動 効率の良い組合わせの実践 バランスの良い組合わせの実践	運動を継続する意義、体の構造、運動の原則について理解している。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話合いに貢献しようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	
体育理論	スポーツにおける技術と戦術・戦略	・個々の運動やスポーツを特徴付けている技術は、練習を通して身に付けられた合理的な動き方としての技能という状態で発揮されること、技能には、クローズドスキル型とオープンスキル型の技能があること、オープンスキル型の技能は、対人的な競技などで絶えず変化する状況の下で多く発揮されること、クローズドスキル型の技能は、個人的な競技などで状況の変化が少ないところで多く発揮されること、その型の違いによって学習の仕方が異なることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、概念と自己の状況を関連付けたりして、自己や社会についての課題を発見している。 ・運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について、習得した知識を基に、環境の異なる場所や変化を想定して、危険を予見し回避するための自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。	スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、主体的に取り組もうとしている。	
	スポーツにおける技能と体力	・運動やスポーツの技能は、体力と相互に関連しており、技能は、身長や体重などの体格や巧みさなどの体力との関連で発揮されることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。			
	技能の上達過程と練習の考え方	・運動やスポーツの技能の上達過程を試行錯誤の段階、意図的な調整の段階及び自動化の段階の三つに分ける考え方があること、また、これらの段階に応じて、効果的に上達を図るためには、良い動きを参考として自己の課題を設定すること、課題解決のための自己に適した練習方法を選択すること、自己観察や他者観察を通して課題を発見し解決すること、上達に応じて次の課題を設定することといった取り組み方が運動の継続に有効であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。			
	効果的な動きのメカニズム	・運動やスポーツの技能は、体力と相互に関連しており、技能は、身長や体重などの体格や巧みさなどの体力との関連で発揮されることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。			
	体力トレーニング	・運動やスポーツの技能を発揮する際には、個々の技能に関連した体力を高めることが必要になることや、期待される成果に応じた技能や体力の高め方があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。			
	運動やスポーツでの危険予知と安全確保	・運動やスポーツを行う際は、気象条件の変化など様々な危険を予見し、回避することが求められること及び、気象条件や自然環境の変化など様々な危険を予見し回避するためには、けがや事故の防止のための対策、発生時の処置、回復期の対処などの各場面での適切な対応方法を想定しておくこと、けがや事故につながりそうな体験から行動や活動環境の修正を図ることが有効であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。			

選択領域（A,B,C,Dの中から2領域以上選択）					
陸上競技・・・A	走・跳・投の基礎基本 短距離走 リレー	○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。	○技能 短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡しで次走者のスピードを十分に高めることができる。	動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。
ダンス・・・B	創作ダンス 発表会	○知識 ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などについて理解している。	○技能 創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方に変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ることができる。	表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。
球技・・・C 【ゴール型】 サッカー バスケットボール ハンドボール	基本技能 課題に応じた練習 簡易ゲーム	○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。	○技能 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。	攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間に考えたことを他者に伝えている。	球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
【ネット型】 テニス バレーボール バドミントン			○技能 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。		
【ベースボール型】 ソフトボール			○技能 安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。		
【武道】・・・D 柔道	伝統的な考え方 基本動作 連絡技 簡易試合	○知識 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などについて理解している。	○技能 相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすることができる。	攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする、健康・安全を確保したりしている。
剣道	伝統的な考え方 基本動作 しかけ技・応じ技 簡易試合		○技能 相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をすることができる。		
観点別評価に対する評価方法		観察 技能テスト 学習カード		観察（発表、話し合い、発言） 学習カード	観察（発表、話し合い、発言） 学習カード

令和8年度シラバス

教科	保健体育	科目	保健	単位	1
学科	全学科	学年	2 年	担当	亀田 関口
教科書	大修館「新高等保健体育」		補助教材	大修館「新高等保健体育ノート」	
科目の概要と目標		個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。			
単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
生涯を通じる健康	思春期と健康	・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	
	性意識の変化と性行動の選択	・思春期の心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。		
	結婚生活と健康	・結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解したことを言ったり書いたりしている。	・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。		
	妊娠・出産と健康	・受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。	・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。		
	家族計画	・家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。		
	加齢と健康	・結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。			
	高齢社会に対応した取り組み	・中高年期を健やかに過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと、生きがいをもつこと、運動やスポーツに取り組むこと、家族や友人などとの良好な関係を保つこと、地域における交流をもつことなどが関係することについて、理解したことを言ったり書いたりしている。			
		・高齢期には、加齢に伴い、心身の機能や形態が変化すること、その変化には個人差があること、疾病や事故のリスクが高まること、健康の回復が長期化する傾向にあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。			
		・高齢社会では、認知症を含む疾病等への対処、事故の防止、生活の質の保持、介護などの必要性が高まることなどから、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。			
		働くことと健康	・労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。		
労働災害の防止	・労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善、長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決の方法に応用している。			
		・労働災害と健康について、習得した知識を基に、労働災害の防止に向けて、個人の取組と社会的対策を整理している。			
	働く人の健康づくり	・働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・労働と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。		
		・働く人の日常生活においては、積極的に余暇を活用するなどして生活の質の向上を図ることなどで健康の保持増進を図っていくことが重要であることについて、を理解したことを言ったり書いたりしている。			

健康を支える環境づくり	大気汚染と健康	・人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
	水質汚濁・土壌汚染と健康		・人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に活用している。	
	健康被害を防ぐための環境対策	・健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、排出された汚染物質を適切に処理したりすることなどが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・環境と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	
	環境衛生に関わる活動	・上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理する等の環境衛生活動は、自然環境や学校・地域などの社会生活における環境、及び人々の健康を守るために行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。		
	食品の安全性と健康	・人々の健康を支えるためには、食品の安全性を確保することが重要であり、食品の安全性が損なわれると、健康に深刻な被害をもたらすことがあり、食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・食品と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	食品と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
	食品の安全性を確保する取り組み	・食品の安全性を確保するために、食品衛生法などの法律等が制定されており、様々な基準に基づいて食品衛生活動が行われていることや、食品の製造・加工・保存・流通など、各段階での適切な管理が重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・食品と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	
	保健制度とその活用	・我が国には、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	
	医療制度とその活用	・健康を保持増進するためには、検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、地域の保健所や保健センターなどの保健機関、病院や診療所などの医療機関、及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことなどが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理している。	保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
	医薬品の制度とその活用	・医薬品は、医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の三つに大別され、承認制度によってその有効性や安全性が審査されており、販売に規制が設けられていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・医薬品の制度及び地域の保健・医療機関について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	
	様々な保健活動や対策	・我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・様々な保健活動や社会的対策について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	
観点別評価に対する評価方法		定期考査 ノート ワークシート	定期考査 ノート 観察・実習 ワークシート	観察 ワークシート

令和8年度シラバス

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位	2
学科	普通科	学年	2年	担当	福田
教科書	東京書籍「情報Ⅰ Step Forward!」		補助教材	数研出版「情報Ⅰ 演習問題集」	
科目の概要と目標		情報及び情報技術を活用するための基礎的な知識を身につけ、情報社会に主体的に対応しようとする態度を育成するとともに、情報モラルを踏まえた適切な判断ができるようにする。			
単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1章 情報社会	1.情報社会とその特性 2.メディアとその特性 3.問題を解決する方法 4.情報の収集と分析 5.解決方法の考案 55.アイディアの大量生産 6.知的財産 7.個人情報 8.情報セキュリティ 9.情報モラルと個人の責任 10.情報技術の進歩と役割 11.情報技術が社会に与える光と影	・情報やメディアの特性を理解している。 ・問題を発見・解決するための一連の流れを理解している。 ・マインドマップ、ブレンストーミング、KJ法のやり方を身につけている。 ・情報セキュリティで確保すべき要素を理解している。 ・インターネットで情報が流通する仕組みや用いられるツールを理解している。 ・情報技術による社会や生活の変化が理解している。	・コミュニケーションの場面で適切なメディアが選択している。 ・いろいろな考えを目的に沿って整理することがしている。 ・個人のマナーの意味を考えている。 ・情報の偏りと隠された意図を見抜き、正しい情報を判断している。 ・情報技術の発達によるメディアとコミュニケーションの変化を考えている。	・さまざまな事象と関連付けながら、情報やメディアの特性を理解しようとしている。 ・情報機器やメディアとの付き合い方を振り返り、授業で学んだことを基によりよい使い方を考えようとしている。 ・身の回りの問題について、問題解決のステップに当てはめながら、粘り強く、多様な意見をまとめようとしている。	
2章 情報デザイン	12.コミュニケーションとメディア 13.情報のデジタル化 14.数値の表現 15.2進法の計算 16.文字のデジタル表現 17.音のデジタル表現 18.画像のデジタル表現 19.データの圧縮 20.デジタルデータの特徴 21.メディアと文化の発展 22.ネットコミュニケーションの特徴 23.情報デザイン 24.操作性の向上と情報技術 25.全ての人に伝わるデザイン 26.コンテンツ設計 60.Webニュースページ	・コミュニケーションと技術の関係を理解している。 ・2進法、10進法、16進法の変換方法を理解している。 ・文字コードについて理解している。 ・音や画像のデジタル化に関する方法を理解している。 ・圧縮とその手法を理解している。 ・情報デザインの目的を理解している。 ・使いやすいユーザインタフェースの工夫を理解している。	・画像と文字データの違いを考察している。 ・解像度と色の階調からデータ量を判断している。 ・情報を整理し、抽象化、可視化、構造化して表現している。 ・使いやすいユーザインタフェースにするための工夫を考察している。	・さまざまな事象と関連付けながら、デジタル化された情報の特性を理解しようとしている。 ・さまざまな情報を、目的に応じて主体的に整理しようとしている。 ・伝えたいことを適切に伝えることができるように、工夫するしようとしている。	
3章 プログラミング	27.コンピュータの構成 28.ソフトウェア 29.処理の仕組み 30.論理回路 31.アルゴリズムの表現 32.アルゴリズムの効率性 33.プログラムの仕組み 34.プログラミング入門 35.プログラムの応用 67.プログラムの改善 36.問題のモデル化 37.シミュレーション	・基本ソフトウェアと応用ソフトウェアの違いを理解している。 ・コンピュータの処理とデータの流れを理解している。 ・アルゴリズムの制御構造を理解している。 ・プログラムを作ることができている。 ・アルゴリズムによって性能が違ふことを理解している。 ・モデル化の考え方を理解している。	・探索と整列のアルゴリズムを考えている。 ・アルゴリズムの効率を考察している。 ・プログラムでアルゴリズムを表現している。 ・配列やリストを利用したプログラムを作成している。 ・条件分岐や繰り返しを利用したプログラムを作成している。 ・適切なアルゴリズムを判断している。	・さまざまな事象と関連付けながら、コンピュータの構造やデジタル化された情報の処理方法を理解しようとしている。 ・目標等に達成するまで、粘り強くプログラムを改善しようとしている。 ・どのような事を明らかにしたいか明確にし、パラメーターを変えながら粘り強くシミュレーションを続けようとしている。	
4章 ネットワークの活用	40.ネットワークとインターネット 42.デジタル通信の仕組み 43.安全安心を守る仕組み 44.情報システム 45.情報システムの信頼性 47.データの活用とデータベース 48.データの管理 49.データの収集と種類 50.データの分析 51.不確実な事象の解釈 52.2つのデータの関係	・インターネットとはどのようなものか理解している。 ・サーバとクライアントの役割を理解している。 ・暗号化方式を理解している。 ・いろいろな情報システムのサービスを理解している。 ・データベース管理システムの必要性を理解している。 ・質的データと量的データの違いを理解している。	・小規模ネットワークの構成を考えている。 ・Webページの構造を表現している。 ・ファイアウォールの役割と機能を説明している。 ・身近に利用できる情報システムを考察している。 ・データを分析している。 ・欠損値や外れ値などのデータを処理している。	・さまざまな事象と関連付けながら、ネットワークの構造や情報セキュリティを向上するための方策を理解しようとしている。 ・適切な方法でデータを分析し、さまざまな視点から解釈しようとしている。	
5章 問題解決	76.高校生の実態調査	・集めたデータを分析する方法を理解している。	・適切なアンケートを考えている。	・適切な方法でデータを分析し、さまざまな視点から解釈しようとしている。	
観点別評価に対する評価方法		定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 成果物	ワークシート 成果物	

令和8年度シラバス

教科	家庭	科目	課題研究	単位	2
学科	生活環境科	学年	2 年	担当	栢山
教科書	なし		補助教材	自作プリント	
科目の概要と目標		・生活産業の各分野について、体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付ける。 ・生活産業に関する課題を発見し、生活産業を担う職業人として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 ・課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、生活産業の発展や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
資源の有効活用	学校家庭クラブ活動 調査・研究・実験 作品製作	身近な資源を活用し、与えられた課題のニーズを理解するとともに、解決に求められる知識や技術を身に付けている。	身近な資源を活用し、与えられた課題の解決に向けて創意工夫し、創造的に作品製作をしている。	課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、課題の解決に向けて主体的かつ協働的にその解決に向けて取り組んでいる。	
インターンシップ	就業体験	生活産業の各分野について体系的、系統的に理解するとともに、進路実現に向けて各分野への理解を深めている。	生活産業を担う職業人や進路実現を目指して、目的や目標の達成に向け、進路計画を立案している。	生活産業を担う職業人や進路実現を目指して主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	
地域のよさをいかした商品開発	調査・研究・実験 試作 販売、PR活動	地域のよさや課題を把握するための手立てや、商品開発に関する知識、技術を身に付けている。	地域生活の充実、向上やよりよい商品開発を目指して課題を考察し、多面的、多角的に自分の考えをまとめて論述している。	課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、主体的かつ協働的にその解決に向けて取り組んでいる。	
職業資格の取得に挑戦	全国高等学校家庭科技術検定に挑戦	自らの進路希望に合わせて、必要な職業資格や検定について理解して立案し、その計画に基づいて知識・技術を深化させている。	職業資格や検定の取得に向けて、学習計画を総合化し、工夫している。	自らの進路希望や興味・関心に応じて学習に主体的に取り組んでいる。	
観点別評価に対する評価方法		自己評価、相互評価 行動観察等	自己評価、相互評価 行動観察等	自己評価、相互評価 行動観察等	

令和8年度シラバス

教科	工業	科目	工業情報数理		単位	2
学科	土木科	学年	2 年		担当	稲垣・溝口
教科書	実教出版 「工業情報数理」		補助教材	なし		
科目の概要と目標		コンピュータの構造や動作原理を理解することで、コンピュータ活用能力を身につける。実習を通じ市販アプリケーションの基本的な操作法をマスターする。				
単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
1 産業社会と情報技術	1 節 コンピュータの構成と特徴 2 節 情報化の進展と産業社会 3 節 情報化社会の権利とモラル 4 節 情報のセキュリティ管理	・情報・情報処理・データ・情報化社会などの用語を理解している。 ・コンピュータの構成要素を区別でき、それぞれの特徴を理解している。 ・身のまわりのどの機器にコンピュータが組み込まれ利用されているか、まとめることができる。 ・情報化社会で守るべきモラルについて、法的な根拠について理解している。	・情報技術の進展にともない産業社会に及ぼす影響について思考・判断でき、自分の考えを表現できる。 ・コンピュータが、制御や通信など多くの機器に組み込まれて活用されていることが考察できる。 ・情報化社会で守るべきモラルについて考察することができる。	・現代社会のコンピュータの特徴や利用のされかたなどについて関心をもち、意欲的に学習に取り組んでいるか ・知的財産権・プライバシーの保護・コンピュータの不正利用対策・コンピュータウイルス、および、それらの対策などに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、学習態度は真剣である。		
2 コンピュータの基本操作とソフトウェア	1 節 コンピュータの基本操作 2 節 ソフトウェアの基礎 3 節 アプリケーションソフトウェア	・キーボードやマウスを扱う技術を習得している。 ・アプリケーションソフトウェアに共通する基本的な操作などの技術を習得している。 ・情報の種類によって適切なアプリケーションソフトウェアを選択して使いこなす技術を習得している。	・各種記憶装置の取り扱い方の必要性が判断できる。 ・各種のアプリケーションソフトウェアを活用して情報を処理し、必要な形式で出力できる。	・コンピュータの基本操作、記憶装置の取り扱いなどに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、学習態度は真剣である。 ・日本語ワードプロセッサ、表計算ソフトウェア、に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。		
3 プログラミングの基礎	1 節 プログラム言語 2 節 プログラムのつくり方	・機械語、アセンブラ言語、高水準言語について理解している。 ・基本的なアルゴリズムを組み合わせて応用的なアルゴリズムを作成する知識を身につけている。 ・基本的なプログラムを作成し、実行する技術を習得している。	・機械語、アセンブラ言語、高水準言語の用途を判断し、適切な言語を選択できる。 ・インタプリタとコンパイラの違いを理解し、用途を考察できる。	・用途に応じたプログラム言語の違いや、プログラムのつくり方に関心をもち、意欲的に学習に取り組み、学習態度は真剣である。 ・問題解決の処理手順である流れ図を描くことに興味をもち、意欲的に学習に取り組み、学習態度は真剣である。		
4 BASICによるプログラミング	1 節 BASICの特徴 2 節 四則計算のプログラム 3 節 文字データの取り扱い 4 節 データの読取り 5 節 選択処理 6 節 繰返し処理	・BASICプログラムの作成手順を理解し、簡単なプログラム作成のための技術を身につけている。 ・INPUT文、READ文、DATA文、IF～THEN文などについて、使い方に関する知識を身につけている。 ・プログラムの用語を理解している。	・簡単なプログラムを読んで、どのような結果が出力されるかを考察できる。 ・処理手順をトレースできる。 ・問題を解決するためのアルゴリズムを理解し、みずからプログラムを作成することができる。	・プログラムの作成手順に関心をもち、意欲的に学習に取り組みようとする。 ・基本的な命令を理解し、プログラムに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、学習態度は真剣である。 ・配列処理によるデータの並べ替え、外部関数などに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、学習態度は真剣である。		

5 ハードウェア	1 節 データの表し方 2 節 論理回路の基礎	・2進数と16進数について理解し、四則計算や変換・計算ができる。 ・基本論理回路を用いて、半加算回路や全加算回路、エンコーダ・デコーダ・フリップフロップなどを構成する技術を習得している。	・10進数の構成から、2進数と16進数の構成が説明できる。 ・基本論理回路を用いた応用回路について、論理的に考察できる。	・2進数、10進数、16進数などに関心がある。 ・基本論理回路とその応用回路、エンコーダとデコーダ、フリップフロップとカウンタなどに関心がある。
6 コンピュータネットワーク	1 節 コンピュータネットワークの概要 2 節 コンピュータネットワークの通信技術	・データ通信システムと情報通信ネットワークの概要について理解している。 ・コンピュータネットワークに使用されている機器について理解し、簡単な接続ができる。 ・コンピュータネットワークで使用するプロトコルについて理解し、簡単な設定や操作などの技術を習得している。	・家庭のインターネット接続について適切な方式を選択し提案できる。 ・コンピュータ実習室のネットワークに使用されている機器やネットワークの構成について説明できる。 ・コンピュータネットワークで使用するプロトコルの知識を持ち、適切なプロトコルを利用できる。	・データ通信の概要とネットワークの概要について関心がある。 ・家庭のインターネット接続やコンピュータ実習室のネットワークに関心がある。 ・コンピュータネットワークに使用する機器やプロトコルに関心があり、学習態度は真剣である。
7 情報技術の活用と問題の発見・解決	1 節 マルチメディア 2 節 プレゼンテーション	・マルチメディア機器やマルチメディアソフトウェアの操作に関する技術を習得している。 ・プレゼンテーションに必要な機器やソフトウェアの操作に関する技術を習得している。	・目的に応じたマルチメディアコンテンツや必要な機器の選択ができ、構成を判断して決定や提案できる。 ・他人の発表をみて長所や改善点を指摘でき、自分の発表に生かすことができる。 ・文書の適切な電子化方法を選択して提案できる。	・マルチメディアのハードウェアやソフトウェアに関心がある。 ・積極的に自分で情報を収集して、分析・処理・発表する意欲がある。
8 数値処理	1 節 単位と数値処理 2 節 実験と数値処理	・組立単位が固有の記号の組合せで構成されていることを理解している。 ・実際の実験データを用意し、グラフ化する方法を理解し、実際にあるデータから特徴を読み取る技術を習得している。	・量の名称・量記号・単位(SI)について説明できる。 ・実験データをグラフによって可視化し、データの特徴を見いだす方法を提案できる。	・量の名称・量記号・単位(SI)について関心がある。 ・実験データをグラフによって可視化し、データの特徴を見いだす方法について関心があり、意欲的に学習に取り組み、学習態度は真剣である。
観点別評価に対する評価方法		定期考査	課題プリント	学習状況

令和8年度シラバス

教科	家庭	科目	生活産業情報	単位	2
学科	生活環境科	学年	2 年	担当	籠浦
教科書	生活産業情報		補助教材	3 0 時間でマスター office2019	
科目の概要と目標		・生活産業の各分野における情報の意義や役割、情報及び情報技術を活用する方法について理解する。 ・生活産業に関する課題を情報及び情報技術を活用して発見し、生活産業を担う職業人として合理的かつ創造的に解決し、生活の質の向上と社会の発展に取り組む態度を養う。 ・生活産業における情報及び情報技術の活用や専門性の向上を目指して自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
情報化の進展と生活産業	情報化の進展と社会 生活産業における情報化の進展	生活産業におけるコンピュータ等の情報機器や情報通信ネットワークの役割や利用状況について理解している。	情報化の進展が社会の人々の生活や生活産業に及ぼす影響について課題を発見し、その解決に向けて考察している。	情報化の進展と生活産業について自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	
情報モラルとセキュリティ	情報モラルとマナー 情報通信ネットワークのしくみとセキュリティ管理	情報モラルとマナー、情報通信ネットワークのしくみとセキュリティ管理について理解している。	情報モラルやセキュリティ管理に関する課題を発見し、その解決に向けて考察、工夫している。	情報モラルとセキュリティについて自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	
コンピュータとプログラミング	コンピュータの基本構成 モデル化とシミュレーション アルゴリズムとフローチャート	モデル化とシミュレーションの方法、アルゴリズムの表現方法やプログラミングについて理解し、技術を身に付けている。	生活産業に関する課題を発見し、その解決に向けて目的に応じたアルゴリズムを表現している。	コンピュータとプログラミングについて自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	
生活産業におけるコミュニケーションと情報デザイン	メディアの特性 コミュニケーション 情報デザインの課題	様々なメディアの特性とコミュニケーション手段の特徴を理解し、情報コンテンツ作成に関する技術を身に付けている。	目的や対象に応じたコミュニケーションの方法や、情報デザインについて課題を発見し、その解決に向けて考察、工夫している。	生活産業におけるコミュニケーションと情報デザインについて自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	
各種アプリケーション基本操作	文書作成ソフトの利用 表計算ソフトの利用 プログラミングソフトの利用 プレゼンテーションソフトの利用 画像処理ソフトの利用 Web ページ作成ソフトの利用	各種アプリケーションの利用について理解し、基本操作技術を身に付けている。	アプリケーションを利用し、プレゼンテーションに活用、表現することができる。	アプリケーションソフトを活用し、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	
生活産業に関連した情報デザイン	食生活関連分野での利用 衣生活関連分野での利用 住生活関連分野での利用 ヒューマンサービス関連分野での利用 消費生活関連分野での利用	生活関連分野における情報の収集、処理、分析、発信等、情報の活用ができる。	生活産業関連する対象、目的を明確にした情報コンテンツの作成を行うことができる。	情報デザインについて自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	
観点別評価に対する評価方法		定期考査 ワークシート 実技提出物	定期考査 ワークシート 実技提出物等	ワークシートレポート等の記述 自己評価や相互評価 観察	